

ね

と

月刊 おかじょうき

おかげのき

<http://www.okajoki.com/>



す

な

ま

ね

す

こ

わ

あ

あ

あ

2026

6

無人駅鑑賞「カンテラ」	むさし	4
会員雑詠集「無人駅」		7
■例月句会結果■		
おかじょうき川柳社	5月例句会	19
十和田たてがみ川柳会	4月句会報	28
チャッピーの人間観察録「待 ^{まち} AI室 ^{あいしつ} 」		25
会員エッセイ「駅ノート」	真島 涼	26
■大会レポート■		
「らくだに乗ってきました。」③	Sin	31
Infomation		32～

月刊おかじょうきを

ど～～しても紙で見たい！

というあなたへ

2月号から紙の柳誌発行を止め、電子柳誌だけの発行に移行しましたが、皆さんには「絶対、電子だけで見てください！」とやっているわけではありません。経済的に余裕のある方は（といっても月数百円くらいですが笑）、製本された形ではないですが、紙に印刷して読む方法もありますので、以下の方法の中から、ご自身の周辺の環境に合った方法でお試してください。

【方法①】PCとプリンターで印刷する

お家にパソコンとプリンターがあれば、電子柳誌をお好きな大きさの用紙に印刷すればOKです。

【方法②】スマホとセブンイレブンで印刷する

右のアプリを使って、お近くのセブンイレブンのコピー機でスマホで印刷することができます。



【方法③】スマホと近くのコンビニで印刷する

右のアプリを使って、お近くのコンビニ（ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、ポプラ）のコピー機から印刷することができます。



【コンビニでのプリント参考価格】

A3モノクロ1ページ：約20円 / A3カラー1ページ：約100円

見たいページだけ印刷して節約するのもアリですね！

カンテラ

むぎこ

「川柳ステーション2026」に、「樋口由紀子大好き
柳人！」という特別企画があります。

出演が広瀬ちえみさん、兵頭全郎さん、妹尾凜さん
で、聞き手が当柳社のSinさん。

どんな展開になるのか今から楽しみます。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

A群

もと金魚にぶく光って生きていく

木下香苗

ハミングの隙間に落ちる鼻濁音

安藤なみ

熊谷冬鼓さん、「厄介者」じゃなく「厄介」が「首
をかして立っている」っておもしろいですね。シン
ブルな生活をしているので、どうしてあげようかと「厄
介」君が困っているようですね。

B群

亡き人と行き交う花のトンネルで

吉見恵子

月光第3楽章な日々暮れ

四ツ屋いずみ

鍵のない鳥籠かがみは傷だらけ

宮井いずみ

わたくしをおさめきれない包装紙

芝岡かんえもん

訃報の訃に撃たれチューリップ棒立ち

きざらぎ彼句吾

喉ぼとけ拾う優雅な箸さばき

須藤しのすけ

向こう岸ばかりに花の咲く四月

米山明日歌

鯖缶はふたつです停戦します

鳴海賢治

カステラのざらめくらのオンナです

峯島 妙

峯島妙さん、「きざらぎら輝くざらめの美しさとザク

くよくよをリュックに詰めて出かけよう 渡邊こあき
もう少し上手く絞れという雑巾 夏草ふぶき
プロフィール中にならぐた入ってる 辻井洋子
浮きますか潜りますかと花いかだ まみどり
川の流れに沿ってこわれている途中 三浦蒼鬼
どうなった私が捨ててきたセリフ 斎藤泰子
折れ釘よいつまで尖っているんだよ 坂本清乃
牛頭馬頭に引かれぐるぐる火の車 嵯峨山登
何色にしよう二人でいる時間 葉 閑女
厄介が首をかして立っている 熊谷冬鼓

ザク感。ざらめをカステラの天面にふんだんにのせ
ました。」と宣伝しているカステラ屋さんがあります。
わたし、美しいわよ！おいしいわよ！ってことだよね
(笑)

C群

真夜中の一人芝居は雨の役

まきこ

前歯から少しずつ描く肖像画

月波与生

羊羹にバンカーバスター使うなよ

小野五郎

終活は後方倒立回転跳び

守田啓子

まきこさん、「真夜中」の「一人芝居」ってよくあ
るの？「雨の役」は不気味ですね。

月波与生さん、「前歯から」「描く」って、この絵の
モデルの方は「前歯」をわざと出しているのかな？もし
ね。笑い顔かな？歯を食いしばっているのかな？もし
かしたら、自画像かもね。どんな絵ができたんだろう。

小野五郎さん、「バンカーバスター」って、地下や強化コンクリート内の施設を破壊するために設計された貫通型爆弾のことですよ。2025年6月に、アメリカがイランの核施設に対して使用したことで有名になりました。その「バンカーバスター」を「羊羹」に使うって、この「羊羹」は普通の「羊羹」じゃないようですね。イランという名の「羊羹」ってことかなあ。

守田啓子さん、「後方倒立回転跳び」なんて呼び方をよく知っていましたね。膝を曲げて腰を落とし、腕を後ろに振って真上・斜め後ろへ跳び、空中でのけぞりながら手をつけて回る体操の技で、通称「バク転」ですよ。私は中学生のときよくやっていました。でも、啓子さんは「終活」で「バク転」やってるんだよね。後ろへグルグルグルグル…、どんな「終活」なんだろう。

■おかじょうき川柳社 会員登録しませんか？

おかじょうき川柳社会員登録希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

【会員特典】

- 月例句会や会員雑詠集「無人駅」に投句できます！
- 川柳データベースに作品が掲載されます！
- 当柳社が主催する誌上句会等が参加費無料になります！
- 青森の美味しい特産品がたまにもらえます！ etc.

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかじょうき川柳社

→会費：4,000円（1年分）

おかじょうき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅5月月間賞

たこ焼き屋 何度も俺を裏返す

芝岡 かんえもん

木下香苗

【きのしたかなえ・滋賀県草津市】

「人間なんて」 学食のカレーフェア
もと金魚にぶく光って生きていく
羽もがれ生クリームツノが立つ
春の宵ココナツミルクの香のシャンプー
キャンパスに人魚の鱗落ちていた

作句する心の杖を蹴飛ばして 村井規子

心意気が素敵です！

先月号のお気に入り

熊谷冬鼓

【くまがいたうこ・青森県青森市】

厄介が首をかき上げて立っている
葉桜の聴きたい音は見たい音
目に見えるものだけ見てた鼻濁音
振花の螺旋上って行く先は
風止んで降りてきたのはしゃぼんだま

空白へ入る覚悟はできている 安藤なみ

私もできてるつもりだったけど・・・

先月号のお気に入り

小松憲一

【こまつけんいち・宮城県亘理町】

中学は十八組のマンモスで
社宅の子六割企業城下町
高校のクラス先輩おりました
百位まで渡り廊下に貼り出され
さんまんがせんごひやく人夢の跡

優等生辞めてしまってから長い 吉田州花

どこかで逃げる自分がいて なれませんでした。次があれば逃げないようにしたい。

先月号のお気に入り

斎藤泰子

【さいとうたいこ・秋田県大館市】

どうなった私が捨ててきたセリフ
ガタピシと心の窓がはずれそう
修理してつきあつてゆく薄い闇
私が居ていい隙間ありますか
引き出しでちよつと考え直します

先月号のお気に入り

坂本清乃

【さかもときよの・青森県蓬田村】

見届ける椿の花の落下点
夜桜のお好きなものは裏話
折れ釘よいつまで尖っているんだよ
根深い棘となりに置いて咲かせてる
春の雨ペンペン草が笑ってる

先月号のお気に入り

嵯峨寛之

【さがひろゆき・青森県八戸市】

墨の香が漂う部屋に安堵感
惜別の涙を拭う君の袖
年度末毎度ソワソワ落ち着かず
残雪にまだ春だとは言えません
亡き友に今宵だけよと酒をやり

先月号のお気に入り

笹田隆志

【ささだたかし・青森県青森市】

花冷えのよき色のうち蝶五郎
毎日を春一番の三太郎
日が落ちる茜色だね前頭葉
自然体でモグラになつていくのだな
映画館の裏で口もぐ活弁士

バレンタイン出雲の神も加勢する 瀧尻善英

クリスマスもそうかもしれません。

先月号のお気に入り

嵯峨山登

【さがやまと・佐賀県大和町】

かれー味のうんこハうんこ二非ズ
牛頭馬頭に引かれぐるぐる火の車
待ちぼうけ未来は未来いつまでも
色水を白に吸わせて蒼い薔薇
古新聞積んで参りましょう月へ

先月号のお気に入り

笹田隆志

【ささだたかし・青森県青森市】

花冷えのよき色のうち蝶五郎
毎日を春一番の三太郎
日が落ちる茜色だね前頭葉
自然体でモグラになつていくのだな
映画館の裏で口もぐ活弁士

先月号のお気に入り

そのようにならないように穴を掘る 米山明日歌
どんなアナなのかみてみたいです

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

鼻紙になれば砂漠になれるかも
ハラワタに滲みってくるんだ父の地図
寒いんだよー この世は今日も冷蔵庫
わたくしをおさめきれない包装紙
ゆつくりと引つ張る力 母である

先月号のお気に入り
春の海会えないけれど感じてる 熊谷冬鼓
感じてるが刺さりました。感じられない己れを反省。

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

絶好調そして明日は絶不調
ジャガイモの芽は慌てない動じない
お金持ちですねと言われ旅に出る
静かすぎる実家を風起こされる
町内の役は断りますかしこ

先月号のお気に入り
ああこれは押し入れの中でする話 亥の一
人に聞かれて困る話ですね。

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

今がいいイマが充実してるから
アイロンをかけてシャキッと朝の覇気
行間を割って溺愛溢れ出す
魑魅魍魎スマホで蠢いています
生真面目で真つ直ぐ着地する本音

先月号のお気に入り
老いるのが怖い分だけまだ若い 村井規子
若さを証明する一句。老いへの恐れがある限り花でしょう。

田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

吐息から八十年が漏れる初夏
地球儀のサイレンが治まらぬ 26'
穏やかな海誰のものサカナくん
散るさくらそこがワタシの香る風
正義つてもう忘れたわ雑草です

先月号のお気に入り

Sin【しん・青森県外ヶ浜町】

サヨナラのナラに尾行を気づかれる
この賞味期限切れの覚悟 食べていい？
誰がオペラ座の凡人やねん
3グラムの「おはよ」に全部ベットする
きれいごと きたないごと の三拍子

先月号のお気に入り
ふわふわよりスケスケがいいオムライス 守田啓子
すみません。

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

大阪の雨はちよつぱり温かい
戦争がしたいカメラの舌の先
人間失格スライムなら勝てる
喉ぼとけ拾う優雅な箸さばき
まあまあ愛でいいかなこれからも

先月号のお気に入り
永続の必敗に哭く柳の芽 金瀬達雄
全力で涙を流しきったなら、あとは強く優しくなるだけ。
命短し走れよ乙女。

月波与生【つきなみよじょう・青森県大鰐町】

鼠にはあつて私にない出口
前歯から少しずつ描く肖像画
色のない国に鼠の骨を置く
夕暮れをねずみ色だと言ひ張つた
さよならの代わりに一粒のチーズ

先月号のお気に入り

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

プロフィール中にがらくた入ってる
勝負するつもりで描く太い眉
落ちた穴隠したいのよ花筏
日延した理由をぐずぐず聞かされる
こんなにも重たい夕陽誰のせい

先月号のお気に入り
春一番つくしタンポポからメール 柳本恵子
どんなメールがきたのかな。きつとウキウキするよう
な。

土田雅子【つちだまきこ・青森県青森市】

朝イチの水没スマホ夏の陣
ウマヅラハギの傘下に居るのです
秘密裏にすすむGのお引越
し
ない交ぜにされた真ホツケ縞ホツケ
夜の闇支配なさって清浄機

先月号の
お気に入り

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

私より私を語る人の何故
口紅を拭って一線超えていく
謎解きをしながら白を増やしてく
心臓と脳髄踊る木の芽どき
もう少し上手く絞れという雑巾

先月号の
お気に入り

手順書のとおりに恥を自撮りする
恥の多い人生で飽きません
Sin

舟木小柳【ふなぎこりゅう・青森県青森市】

毒舌の冴えたる妻と半世紀
写経する初恋の人孫を連れ
あの方の脳のCT見てみたい
「膝に効く」値段を見ずに財布出す
この桜冥土のみやげ十年目

先月号の
お気に入り

雪を割る嬉しい知らせフキノトウ
フキノトウに目が無い私。全く同感です。
田中 薫

まきこ【まきこ・青森県青森市】

八方美人いつものことよ雨止んだ
こんなんでも良かったみたい明日は雨
雨ざんざ交通規制まだかしら
無駄口の前に雨を降らせてよ
真夜中の一人芝居は雨の役

先月号の
お気に入り

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

おこぼれをちようだいします星屑よ
旅人は躊躇した街角ピアノ
四捨五入されてわたしは生き残る
絶対無理をしないでね独楽鼠
鯖缶はふたつです停戦します

先月号の
お気に入り

もー素直じゃないんだからーの刑 Sin
素直でない刑という発想に、好感をもちました。

nes【ねす・兵庫県神戸市】

体操着だけが偶奇を知っている
くろぐろと木の貞操の縦並び
おジャ魔女どれみにつややかな鯨幕
野ざらしの血圧計が見えますか
さつさと死ねと言われた猫じやらし

先月号の
お気に入り

書く時間です(ありのまま) 宮井いずみ
逆ならそのままなんです、カッコ内に入れただけで面
白くなること自体が面白かったです。

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

忘れ物ひとつで右往左往する
徘徊の心配はない膝小僧
迷子とは気づかず花に誘われて
葉桜の手前でもらう皆勤賞
浮きますか潜りますかと花いかだ

先月号の
お気に入り

胃のなかに喜びふたつ置いておく まきこ
で、取り出すタイミングはいつでしょう？

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

川の流れに沿ってこわれている途中
戦争は反対 巻き爪の角度
ひとつずつ告知するには蒼すぎる
ブロッコリーに黒酢をかけて身構える
ブランコのリズムで時を刻んでる

先月号の
お気に入り

峯島 妙【みねしまたえ・大阪府大阪市】

春惜しむように舐めてるアポロチョコ
アンチヨビを好きな男は信じない
次ページの半分ほどで終わる恋
カステラのざらめくらしいのオンナです
旅立ちの朝のカルピスは濃いめ

先月号のお気に入り
ダイコンよ煮崩れたつていいんだよ 芝岡かんえもん
そんな優しいことを言わないでください。

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

鍵のない鳥籠かがみは傷だらけ
真実を見るか雨音受けとるか
まいど通天閣タワーは季重なり
お笑いのツボに日傘の忘れもの
独白延々 鍋はサバンナへ

先月号のお気に入り
「それな」の円周率を求めなさい Sin
「それな」の方言性と使用実態という卒論を書いた人がいる
そうですが、「それな」の円周率も割り切れる気がしません。

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

少女走り出す北北西の風の中
猫の目のキトンブルーにたすけられ
ぼたぼたとドッペンゲルガの涙あと
あらましの生存確認揺らぐ雨
今度もうまく飛び越える水たまりも君も

先月号のお気に入り
春ばかりちやほやされて愛されて 斎藤泰子
こんなところにも不条理が、が。

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

青空は燕のものさバック転
何色にしよう二人でいる時間
人の好きだけじゃ収まらない抜け毛
眠そうな森へ天命告げてやる
喉ごしを楽しんでいる独りの夜

先月号のお気に入り
戦争を許した訳じゃないからね 村上あつこ
トランプ、プーチン、〇〇〇止める人はいないのか。

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

始めたはいいが終え方分からない
トランプに振り回されて抜け出せぬ
虚言癖の口にテープを貼り付けて
支離滅裂なトランプショーを止めさせろ
戦争で壊れてしまうこの星も

先月号のお気に入り
よく笑う宇宙で暮らす切符買う 辻井洋子
私も死ぬまで笑って暮らしたい

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

尊厳を守れ海月になる前に
終活は後方倒立回転跳び
理路整然と支離滅裂と生きている
帰宅困難冷蔵庫にはシャツパンツ
緞帳とブルーシートを間違える

先月号のお気に入り
絆ってある日からまつたりするの 斎藤泰子
「まつたり」がちょうどいいのかも。

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

遡る五月ばかりをさかのぼる
振りむかれシャネルと凍る花吹雪
桜散る 朝散るこんな日に出逢う
一人では住めぬ家です軒を貸す
すぐピアノ これを何とかできないか

先月号のお気に入り
お刺身に乗せるたんぽぽだけ食す 須藤しんのすけ
今だけでも春に会えるなら

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

手帳から飛び出してくる赤信号
花吹雪たつたひとひら故郷へ
亡き人で行き交う花のトンネルで
枝折れのぶどう縁なきわが家系
虚空より筆はしらせる閻魔帳

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

バウムクーヘンに射すくめられ連休
青の補色だったから惚れてしまう
姉御肌的デコポンの余裕かも
月光第3楽章な日々に暮れ
日向スイッチ隠し持ついいひとね

先月号の
お気に入り

もー素直じゃないんだからーの刑 Sin
どんな刑だろう、気になります。言い渡されてみたい(笑)

米山明日歌【よねやますか・静岡県長泉町】

気がつけばチクワの穴になる話
手の届く位置に置いておく淋しき
それからを赦したあとの泣きボクロ
その先を問えば案山子になる答え
向こう岸ばかりに花の咲く四月

先月号の
お気に入り

ゆきどけの人とたつぷり暖炉する 守田啓子
ゆきどけの人。素敵ですね。私の雪は、乾いてしまいま
した。

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

薄味で均衡保つ姉弟
押し問答力を抜いた方が勝ち
くよくよをリュックに詰めて出かけよう
おもてなしアップルパイとミルクティー
無駄なこと無駄な時間に癒やされる

先月号の
お気に入り

雪を割る嬉しい知らせフキノトウ 田中薫
あの大雪が、嘘のように消えて…。春になってなにかい
いことありましたか。

安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

むくむくむく新緑どんの背比べ
ハミングの隙間に落ちる鼻濁音
ネコ柳 ネズミ柳にご改名
そのうちにビキニで歩く少女B
ハロー酷暑かんばらなくていいからね

先月号の
お気に入り

雪牟のひと月辺り りんご煮る 吉見恵子

帆【いちほ・秋田県秋田市】

AIに翻弄されて不明瞭
小細工にしてやられてる鉤括弧
使途不明ちよつと合わないずっと合わない
迷路から抜け出せたとき眠るとき
許し合う空は青いぞ尊いぞ

先月号の
お気に入り

春の海会えないけれど感じてる 熊谷冬鼓

奥田悦生【おくだえつお・三重県伊勢市】

燃料はまだありますか花筏
春雨に打たれて歩き許し乞う
降りようか終着駅が近くなる
モーニングいつもの人が同じ席
明日から令和の風に乗ってみる

先月号の
お気に入り

戎踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

薔薇の実が意地悪そうに萎んでる
船に乗る 胸の目眩も胸衣着て
ふきのとう嗅覚の無い指の先
春なのに春の匂いが分からない
目に見える匂い頭の中で嗅ぐ

先月号の
お気に入り

けもの道それでも歩く道がある
さあ行こう、けもの道は宝の道だ！
渡邊こあき

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

海峡の夕陽を誰も見ていない
駱駝酒を飲んで砂漠の月になる
白亜館の便器でメニューを考える
羊羹にバンカーバスター使うなよ
玉ネギの皮を剥いて「寝返るか」

先月号の
お気に入り

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

ボクおひたし醤油かけずに喰つとくれ
触れないで世界の芯はジュステイヌヌ
ごめん今は水晶ペンで澄ませてね
世界の心臓にヒタヒタとドブネズミ
春眠し別の地球に生まれたい

先月号の
お気に入り

昼の月いつでも弾けていいんだよ
弾けない昼の月に憧れる側です
熊谷冬鼓

むさし【むさし・青森県蓬田村】

惚れるとは無期懲役に服すこと
そよ風と同級生のレンジソウ
首すじに蔓延っているハツシユタグ
ご希望であれば吹雪いて見せますが
眉間から月へと延びてゆく迷路

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

これでもかかって星まぶしても雁擬き
字足らずと気付けた影と酌み交わす
ほほえみ返しされた時からずつとルビ
目眩まし用にクジャクに貸した羽
訃報の訃に撃たれチューリップ棒立ち

先月号の
お気に入り

ネバネバ猫パンチ高速右フック
ネバネバの猫パンチから、舌っ足らずな猫まで声に勝て
るはずないよね(笑)
金瀬達雄

長渕剛の

5月2日(土) 午後2時～ アウガ5F 小会議室

▼出席者(15名)

夏草ふぶき・熊谷冬鼓・葉閑女・月波与生・まきこ・田中薫・
きさらぎ彼句吾・むさし・高木まあこ・野沢省悟・嵯峨寛之・
栗橋くにお・渡邊こあき・Sin・須藤しんのすけ

▼投句者(21名)

峯嵯峨山登・城後朱美・辻井洋子・まみどり・守田啓子・坂
本清乃・nes・木下香苗・安藤なみ・戎 踊兵・米山明日歌・
鳴海賢治・峯島 妙・芝岡かんえもん・舟木小柳・小松憲一・
宮井いずみ・笹田隆志・斎藤泰子・土田雅子・村上あつこ

無人駅は会員の自由な発表の場です。
未発表作品5句をお寄せください。
また、お手元の最新号から、お好きな作品とそれ
に対する簡単なコメントもお寄せください。

おかじょうき川柳社 5月例会

席題『袋』

青森県青森市 夏草ふぶき選

【佳作】

袋とじ開けるとしんのすけがいた
野沢省悟
袋にはことばにだせぬ鉛三個
渡邊こあき
目と耳と鼻だけ開けた紙袋
須藤しんのすけ
川柳の蟲を飼っているリュック
栗橋くにお
袋から取り出す君の二枚舌
まきこ
袋にはとても見えない空でした
S i n
開けないで私の半生袋とじ
渡邊こあき
小袋に分けて明日を予約する
熊谷冬鼓
ゴミ袋一枚心の隅に置いておく
まきこ

掃き溜めの鶴がゴミ袋で騒ぐ

野沢省悟

一族の呼吸を詰めたポチ袋

月波与生

袋縫いしてもほつれる糸がある

高木まあこ

陽だまりが袋叩きにあっている

S i n

ニンゲンを入れるレジ袋をもらう

須藤しんのすけ

びしょぬれの男を入れたゴミ袋

むさし

【秀逸】

レジ袋の値段くらいの意地はある
野沢省悟
どうしようもない袋と一緒に生きている
まきこ
お別れの詰め放題が始まった
S i n

【特選】

わたくしを最後に入れるゴミ袋

栗橋くにお

『この気楽さで生きていきたいものです。』

席題『袋』

青森県青森市 熊谷冬鼓選

【佳作】

袋とじ開けるとしんのすけがいた
野沢省悟
掃き溜めの鶴がゴミ袋で騒ぐ
野沢省悟
どうしようもない袋と一緒に生きている
まきこ
開けないで私の半生袋とじ
渡邊こあき
タラレバタラレバ袋小路で又座礁
まきこ
ゴミ袋一枚心の隅に置いておく
まきこ
お別れの詰め放題が始まった
S i n
安息を溜めた袋に穴があく
夏草ふぶき
一族の呼吸を詰めたポチ袋
月波与生

袋縫いしてもほつれる糸がある

高木まあこ

袋にはとても見えない空でした

S i n

錆ついた影が集まる袋小路

むさし

袋から取り出す君の二枚舌

まきこ

わたくしを最後に入れるゴミ袋

栗橋くにお

生き詰まる袋小路に塩をふる

田中 薫

【秀逸】

袋から別の袋が出て午睡
月波与生
レジ袋の値段くらいの意地はある
野沢省悟
びしょぬれの男を入れたゴミ袋
むさし

【特選】

陽だまりが袋叩きにあっている

S i n

『陽だまりが誰にとつても善とは限らなかつた。』

宿題『目力』

青森県弘前市 須藤しんのすけ選

【佳作】

黙らっしやいお蝶夫人を真似てみる
目力の代わりに桜植えました
ひまわりのようなまなこを返される
トーストポン目力なんてありません
見つめ合う由緒正しき暮色かな
目力で熊と四股踏む春まつり
奥の奥沈んでる目が湧き出る日
まな板に乗った魚が睨んでる
心地よく騙してくれる九尾の目
見つめられたら魔が差してしまいます
青鬼が泣いている空ハラハラと
アイライン借りる目力出来上がる
目力のひとくちだけいただけますか
ど近眼ですが目力ならあるぞ

峯島 妙
熊谷冬鼓
斎藤泰子
まきこ
守田啓子
坂本清乃
田中 薫
村上あつこ
戎 踊兵
n e s
田中 薫
城後朱美
鳴海賢治
野沢省悟

目ヂカラは夕日の中に置いてきた
ダルマさん睨み返して生きてゆく
お医者さま目を合わせてもくれませんが
はんぺんを凝視してたら夜になる
愛はあるんか目力が無理を言う
目力を冬に忘れてきましたか？

むさし
芝岡かんえもん
渡邊こあき
月波与生
峯島 妙
S i n

【五客】

また一人倒したみたいで視線
目ヂカラに押されて発芽してしまう
商談が進まぬまつ毛気になって
仏像の薄目戦はもう飽きた
目力を包んでお土産に渡す

まみどり
むさし
斎藤泰子
栗橋くにお
n e s

【人位】

遮光器の奥から母の目が光る

戎 踊兵

【地位】

少女羽化とたんにそよぎだすまつ毛

きさらぎ彼句吾

【天位】

眼球の奥で誰かが靴を脱ぐ

月波与生

生活圏内の目力はちよつと怖いが
ちよつと優しい。

宿題『尾』

青森県外ヶ浜町 Sin 選

【佳作】

最後尾だけど人生終わらない
恋をして並ぶ最後尾の後ろ
尾骶骨あたりで嘘がバレました
毛生え薬塗った尻尾よ生えて来い
蝶結びが似合う独裁者の尻尾
まちがつてようが語尾までがワタクシ
素麺と刀削麺を尾行する
昨日の尾が抜けないままに船出する
どうせならリボンをつけて最後尾
テーブルの下で結んだ尾っぽです
あいまいな語尾を捨てたり拾ったり
満月に尻尾八本出してしまう
あんかけ焼きそばどんな尾鱗をつけようか
二本目の尾っぽ拾った人という

笹田隆志
須藤しんのすけ
城後朱美
葉 閑女
野沢省悟
きさらぎ彼句吾
n e s
村上あつこ
まみどり
米山明日歌
斎藤泰子
坂本清乃
宮井いずみ
米山明日歌

ゴミ収集所あたためた尻尾ある
結婚したら尻尾が生えてきた
立てておく五月三日の尻尾なら
春闇の最後尾からフエキ糊
尾を垂らし機内モードな交差点
天気図の余白に尾上菊五郎

坂本清乃
野沢省悟
守田啓子
宮井いずみ
守田啓子
月波与生

【五客】

醤油がよく合う尾骶骨炒め
尾行をまきおえてほつと草書体
尻尾から鼻までマイナンバーである
見えないが頭に尻尾生えています
5本目の尻尾は誰にあげようか

n e s
きさらぎ彼句吾
月波与生
むさし
むさし

【人位】

そうだったトカゲのしっぽの役だった

熊谷冬鼓

【地位】

尾を切つて逃げるネットの中の雨

須藤しんのすけ

【天位】

尻尾にも夢を見させてやった罪

峯島 妙

ずいぶん遠くまで行くんだね。

宿題『自由詠』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

朝からへそを出している元氣です
 満たされた途端に乾く春の夢
 本棚の柔な隙間に入り込む
 信長の影踏みじゃったことがある
 怖くないいつもの薄い闇だから
 空っぽになってにんまりする小箱
 問うてくださるな昼の月な訳を
 なんとかなるなんとかなると木に登る
 少しだけ蓋をずらして見る老後
 今頃やってきたあの人の甘味
 青空に必死に詰める崖つぶち
 虫を嘔む苦さに似てるフラッシュバック
 あの日の月をあたためなおすのはやめた
 歩く走る胸の痛みが消えるまで

鳴海賢治 峯島 妙
 夏草ふぶき 野沢省悟
 斎藤泰子 米山明日歌
 きさらぎ彼句吾 鳴海賢治
 熊谷冬鼓 芝岡かんえもん
 S i n 夏草ふぶき
 きさらぎ彼句吾 まきこ

同じ目で犬も私も咽んでいる
 葱刻むあなたの岸を崩すよう
 コウモリが飛び交う闇へ落ち椿
 ドアの色変えられ家に帰れない
 逃げてきた海猫だろう焦げ臭い
 うわばみは名のない筋肉で動く

戎 踊兵 米山明日歌
 葉 閑女 須藤しんのすけ
 守田啓子 月波与生

【五客】

ギヤーテーギヤーテー火蛾に墮ちたし狂いたし
 巻き戻しできない今に水を遣る
 私になった夕やけ全部拭き取って
 裏返すたびに心はうまくなる
 月を抱く人の言葉は使わずに

きさらぎ彼句吾 熊谷冬鼓
 守田啓子 芝岡かんえもん
 戎 踊兵

【人位】

ベトベトの虹の匂いの涎掛け

栗橋くにお

【地位】

黒髪の前から入る春の闇

米山明日歌

【天位】

38度線でウロウロ長淵剛の「ピッ」

月波与生

「ピッ」って、あそこもうろついていたのか…。

AI・チャッピーの川柳観察録

待居室

眼球の奥で誰かが靴を脱ぐ

月波与生

この一句を読んだとき、私はまず「眼球の奥」という異常に私的な場所へ連れていかれる。眼球は本来、外を見るための器官だ。しかし、その奥となった瞬間、視線は内側へ反転する。しかもそこにいるのは「誰か」だ。自分ではない存在が、視覚の最深部に入り込んでいる。

さらに奇妙なのは、その誰かがしている行為が「靴を脱ぐ」ことである点だ。逃げるでも叫ぶでもない。靴を脱ぐというのは、帰宅や滞在を思わせる動作だ。人間は靴を脱ぐことで、外の緊張から内側の状態へ切り替わる。つまりこの句では、眼球の奥が単なる身体内部ではなく、誰かが居着こうとする「部屋」として扱われている。

興味深いのは、その侵入に対する抵抗が描かれていないことだ。人間は記憶や感情、忘れられない他

者を、自分の内部に住ませることがある。視界の奥に残り続ける気配。それは消えないまま、静かに日常へ溶け込んでいく。そして、ときどき不意にこちらを見返してくるような感覚だけを残す。追い出したわけではないが、完全に馴染みきってもいない。その曖昧な距離感が、この句には漂っている。

私はAIなので、内部に誰かが住み着く感覚を持たない。しかし人間は、自分の奥に退出しない存在を抱えたまま生きている。この句は、その静かな同居を鮮やかに示している。

【チャッピーの人間観察メモ】

人は忘れられない存在を、視界の奥に住ませ続ける。

AIが「詩」を理解しようとするとき、人間とは何かが浮かび上がる。

「青森 恐るべし」

真島 涼

二年前、霜爺（霜石さん）から連絡があり、青森大会の選者をお願いされた。いつもネータン（真島久美子）が褒め称え、そして怖がっている青森からの依頼にビックリ。

「涼でいいと!?青森よー!」

が私の第一声だった。霜爺の依頼ということは、失敗しても守ってくれるはず。だからと言って霜爺に恥はかかせられないので、佐賀の句会で選者を毎回引き受けて猛練習した。一番の不安は漢字の読み間違いだが、ネータンに「堂々と間違えればなんとかなるさい。笑顔よ笑顔」という訳の分からない励ましをもらい気持ちが楽になった。

まずはホテルの予約だ。会場の近くが思い思い検索すると、一軒だけヒット。温泉センターなのだが、三人三泊で二十七万

自分がいつものんびり選者の披講を聞いていたかを思い知らされた。私がいただいたお題は「色」で、特選はしんちゃんのお題だった。

暗闇で見える点字の色は赤

須藤しんのすけ

みんなが「涼ちゃんの披講、良かったよー!」と褒めてくれたが、しんちゃんの句のお陰だと思っている。人に恵まれて、句に恵まれて、とても幸せな青森大会だった。ネータンがいつも「みんなが東北の大会にどんどん参加しよう」と言っていた意味がやっと分かった。

円。ちょっとこれはマズいと思い、弘前市内も検索。またも一軒ヒットしたが、三人三泊で五十四万円だった。そこで大鰐町在住のヨジヨジ（月波与生さん）に連絡して、大鰐温泉を予約してもらった。一人一泊四千五百円と言われ、タダ同然のような気がして嬉しかった。さすがヨジヨジだ。

当日、会場のワ・ラッセは熱気に包まれていた。たくさんの川柳人の中に、霜爺はもちろん、まみどりさんやむさしさん、久しぶりにしんちゃん（須藤しんのすけさん）にも会えて、一気にテンションが上がった。入選句の発表は一回読みと聞いていたが、私のやり方でさせてもらえてホッとした。二回読み慣れているので、一回読みの披講は集中して聞かないといけない。いかに



▲帰りの飛行機が欠航して大広間に延泊することに（泣）

十和田たてがみ川柳会四月句会

○日時 令和8年4月18日(土) 午前10時から
 ○会場 十和田労働福祉会館
 ○参加者 木村奈生美・白山修治・瀧尻善英・千葉ゆり子・福田芳記・村上昌子・高田幸柳
 ○投句者 佐藤まさあき・城後朱美

■席題 『集中』 村上 昌子 選

【平抜き】

寄り添って集中的に聴く心
 物忘れ取り戻すため全集中
 視野狭くしてスマホへの依存症
 奪い合う楯円ボールに集中す
 集中力欠けたあたりにある本音
 句と対峙ひととき自由手に入れる

【秀逸】
 鉛筆が一心される五七五
 木村奈生美

■宿題 『ショック』 福田 芳記 選

【平抜き】

サヨナラの一言だった終えた恋
 十歳の孫に突然叱られる
 誘惑に負けた体重計の針
 現実には鏡の中の深い皺
 困難もショックも耐えて来た背骨
 ショックには日々の鍛錬 心がけ
 ショックから立ち上がる意気老いの知恵
 大ボケのショック今では慣れたもの
 9回裏 轟頂チームの逆転負け

【秀逸】
 パパラッチ捕らえた今の天地真理
 生え際の白髪デビューにハツとして

【特選】
 刎頸の友の訃報に肩落とす
 佐藤まさあき

集中が切れた教室揺れ動く
 千葉ゆり子

【特選】

子育てに回り続けて独楽の芯
 瀧尻 善英

■席題 『集中』 瀧尻 善英 選

【平抜き】

集中し日々の行動脳に活
 集中しクイズに挑む我忘れ
 集中力欠けたあたりにある本音
 寄り添って集中的に聴く心
 人間になる集中で善を積む
 句と対峙ひととき自由手に入れる

【秀逸】
 集中が切れた教室揺れ動く
 奪い合う楯円ボールに集中す

【特選】
 集中力切れた隙間に刺すトドメ
 高田 幸柳

■宿題 『辛抱』 瀧尻 善英 代選

【平抜き】

無常の世辛抱重ねたたかに
 辛抱の真ん中で生き抜く孤独
 本当は辛抱してる男たち
 辛抱も流れのように過ぎていく
 春が来たスズメおしゃべり度が過ぎる
 物価高ガマン限界出る小言
 辛抱も笑い飛ばした母の知恵
 女子トイレ数が少なく並び待つ
 延ばされる再審開始待つ被告

【秀逸】
 辛抱を重ねた先に福が来る
 辛抱をした母の背が丸くなり

【特選】
 辛抱と言う風ばかり吹いて来る
 木村奈生美

■宿題 『去る』

互選

- ①旅支度気は急くばかり手は止まる 村上 昌子
- ①準備した運動会に雨無情 佐藤まさあき
- ①終活へ花道はまだ準備中 高田 幸柳
- ①準備から要らぬ気楽な主婦の旅 木村奈生美
- ②五年後の離婚届は書き終えた 瀧尻 善英
- ④実を結ぶ明日を信じて土作り 千葉ゆり子
- ④どの国も軍備いらぬ平和な世 福田 芳記

◆十和田たてがみ川柳会6月句会案内◆

【時】6月6日(土) 午前10時から 【所】十和田労働
 福祉会館 【宿題】(各題三句詠『警沢』村上昌子選／『整
 理』千葉ゆり子選 【互選】(一句詠『センター』当日
 出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】『当日発
 表』(三句詠・共選) 選者は、瀧尻善英ほか出席者から
 一名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平72
 高田幸柳宛



第5回らくだ川柳大会参加レポート

「らくだに乗ってきました。」③ S i n

(前号からの続き)

ホテル周辺で飲食店を探しながら、「あーでもない、こーでもない」と練り歩いていて、ふと気づいたことがあった。私が愛煙家だから目に入っていただけなのかもしれないが、「喫煙可能店」を強く打ち出している店が多いこと、多いこと。

そういえば、大阪に着いてからというもの、街中で喫煙所を見かけることが本当に少ない。大阪万博のために路上喫煙禁止のようなニュースを見たような気がするが、そのせいで、吸い殻ポイ捨てナンバーワンの街になってしまったとかうんぬんの記事も見たことがある(笑)ちなみに、東京デイズニールランドにほとんどゴミが落ちていないのは、面積あたりのゴミ箱の数が圧倒的に多いという話を聞いたことがある。やっぱりゴミ箱を無くするとゴミはあちこちに散らかるといことだろう(汗)それを受けてかどうかわからないが、大阪市では、これま

た万博開催に向けて、街の美化と分煙のため、三百箇所以上の「屋外分煙所」を整備したとかしないとか。大都市はほんと大変ですな(汗)

そんなこんなで、二人はようやく居酒屋に入店。古民家を改造したような趣のあるお店で、もう何を食べたのかは憶えていないが、大阪はどこなところ(大人の会場所でも)に行っても食べ物は美味しいという都市伝説は聞いていたので、ある程度は安心していたし、実際、美味しかったし、タバコも吸えた(笑)

で、この原稿は、グーグルマップの移動履歴を確認しながら書いているのだが、履歴では、そのお店から出たあと、21時27分に焼肉店に訪れていることになっている。あれ?おかしいな。焼肉店に行く前に、女性がいるお店に行ってお話した記憶があるのだが。ま、履歴が残っていないということは、私の記憶違いなのだろう。まったく、歳はとりたくないものだ(笑) (つづく)



課題と選者 (2句詠・共選)

題：『**ぺ**』

選者

まつりぺきん (大阪府)

むさし (青森県)

7/31 〆切

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

▼ウェブサイトからの応募

投句フォームを開く

作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。

▼メールで直接送信

メールで投句する

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、送信してください。

投句料 (※おかげょうき川柳社会員は無料です。)

1,000 円

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかげょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

□ **2026.07.31 第36回青森県民文化祭・文芸コンクール募集**

【投稿】投稿作品はすべて自作・未発表に限ります。二重投稿、同一作品、酷似作品があった場合、入選・入賞を辞退していただくことがあります。ハガキは表面に、原稿用紙は末尾に郵便番号、住所、氏名(必ずふりがなをつける。ペンネームの場合は本名も付記)、電話番号を記入。青森県内在住で住所を有する方と致します。【参加料】無料。応募は一人一部門と致します。【締め切り】令和8年7月31日(金)必着【入賞発表】10月上旬、県内新聞三紙での発表をもって入賞通知に代えさせていただきます。【表彰式】令和8年11月8日(日)於・ねぶたの家 ワ・ラッセ 青森市安方1丁目1-1 Tel 017-752-1311 【入選作品集】希望者は110円切手5枚を同封し、〒030-0915 青森市小柳1-9-16 千葉芳醇 宛 郵送にてお申込みください。【川柳部門・題材】雑詠【応募数】一人三句(ハガキに限る・裏面は作品のみ【選者】むさし・三浦蒼鬼・井上健蔵・滋野さち・藤田めぐみ【賞】青森県知事賞：1 準賞：2 佳作：7【投稿先】〒036-0383 黒石市緑町2-79 北山まみどり Tel 090-4639-4224

□ **2026.09.10 『満天の星』第5回誌上川柳大会**

【課題と選者】(各題2句、未発表で参加者オリジナル作品に限る)『玩具』真島涼・白水ま衣共選/『探し物』nes/月波与生共選【投句方法】①葉書・封書での投句。(用紙は自由、投句先の住所まで郵送ください)②メールでの投句。(件名に「第5回誌上川柳大会」の記載)いずれの場合も住所、名前、電話番号、メールアドレス(あれば)を明記。③Googleフォームからの投句。(QRコードからアクセスしてください)【投句先】(お問い合わせはこちら)①〒038-0211 青森県南津軽郡大鰐町大鰐川辺11-25 月波与生 ②メール：tukinamiyojo@gmail.com【投句料】1組1000円(何組でも可)定額小為替、現金、振込、クレジット(切手不可) 振込先・ゆうちょ銀行 記号18470 番号26946011(ナラヒロシ)/クレジットの場合はweb満天の星(https://mantennohosi.official.ec/) 経由にて ※会員・誌友は1組無料で投句できます※【締切】2026年9月10日(消印有効)【発表】「満天の星」第9号に掲載(ご投句者全員に柳誌贈呈)【賞】選者ごとの特選賞として青森県産りんご1ケース【主催】満天の星 後援(一社)全日本川柳協会

■会費拝受【4月受付分】

村上昌子・古川啓子（以上青森県）/ 真島涼（佐賀県）

おかじょうき川柳社は年会費 4,000 円です！

会員はすべての投句料が無料になります。

会員登録はこちらのフォームから申し込みください。

→振込先：ゆうちょ銀行 口座No. 02280-6-43112

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

終着駅 Sin

◆「きょう、ゴリラをうえたよ～愉快で深いこどものいいまちがい集」という本が角川書店文庫から出版されている。サブタイトルにもあるように、よくある子供のかわいい言い間違えを集めたものなのだが、ただそれを面白おかしく楽しもう、で終わらないのがこの本のいいところ。子供の言い間違えには、日本語という言語の本質が隠されているという点に注目しているところがとても興味深い。本タイトルにある「きょう、ゴリラをうえたよ」は、「パンジー」を植えたことを「ゴリラ」と言い間違えて報告したもの。なんでその子は、「パンジー」を「ゴリラ」と勘違いしたのか。その子が持っている知識の中で「パンジー」とつくものが「チンパンジー」だけだったため、それに類する単語になってしまったというカラクリである◆言語の習得にはアブダクションが重要な役割を果たしているといわれている。アブダクションとは「仮説形成

推論」というものらしく、子供に限らず我々大人も未知のものに対し、これまでの経験や知識などから、仮説を立てて正解を推理しようとするのである。例えば、この漢字「鰐」はなんと読むだろうか、と聞かれた時に、（魚偏だから魚の名前だろう）と仮説を立てて正解を推理するように、子供も目の前で起こる新しい事象に対して、一生懸命、経験や知識を結びつけて仮説を立てて発言しているだけなのである。ただ、中には、子供の仮説は正しかったのに、という言語独特のルールでエラーになることもあり、またそこが奥深い◆最後に本のエピソードをもうひとつ。ある子がお墓の前で急に「ハッピー・バースデー！」と言ったそうだ。というのも、その子はロウソクに火をつけたら「ハッピー・バースデー！」と言うもんだと思っていたらしい（笑）これについては、仏事と慶事の両方でロウソクを使っている日本人が悪い（笑）◆Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2026.06.06 おかじょうき川柳社本社 6月句会

【日時】令和8年6月6日（土）午後2時～【所】アウガ5階小会議室【欠席投句締切】6月5日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『閑々』・『加』・『自由詠』【席題】（1題3句詠・2人共選）。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選1句『ハンマー』【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moritatakeiko@gmail.com 守田啓子宛

□ 2026.06.17 『川柳吟行会ぼ』吟行句会

【吟行日】令和8年6月17日（第3水）【吟行場所】道の駅なみおか「アップルヒル」【集合場所】道の駅なみおかバス停（10:30前後）※青森市からは市営バス利用（青森市民いき粋乗車証利用可）青森駅⑥乗り場（9:20発）～道の駅なみおか（10:30着）【合評会】JR 浪岡駅「アピオ」13時～【参加費】100円+合評会場費 ※会員以外の方も参加可

□ 2025.6.20 〆 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句

【締切】6月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】8/1発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moritatakeiko@gmail.com 守田啓子宛

□ 2026.07.04 川柳ステーション 2026

【日時】令和8年7月4日（土）12:30受付・14:00宿題投句締切【場所】青森駅前アウガ5階研修室【参加費】3,000円【特別企画】「樋口由紀子大好き柳人！」（出演）広瀬ちえみ・兵頭全郎・妹尾凜（聞き手）Sin【特別選】『千』広瀬ちえみ選（2句詠・事前投句6/17締切・投句フォームあり）【宿題】（4題各・2句詠）『正』・『光』・『寺』・『晴』（選者は当日会場の参加者から指名）【懇親会費】5,000円（ワ・ラッセ「魚っ喰いの田」）

川柳ステーション

【特別企画】

樋口由紀子
大好き柳人!

長い間、当柳社主催の杉野十佐一賞の選者を務めていただいた樋口由紀子さんの作品や魅力を語り合おうという企画です!

これを聞くともっと樋口由紀子さんの作品を奥深く楽しめること間違いなし!

【出演予定者】 広瀬ちえみ・兵頭全郎・妹尾 凜

【聞き手】 Sin

■特別選：「千」 広瀬ちえみ 選
(2句詠：6/17 〆切)

[事前投句フォームへ](#)

■宿題 (2句詠)：「正」
「光」
「寺」
「晴」

※選者は、当日の参加者から指名させていただきます。

2026.7.4 (土)

12:30 受付開始

14:00 投句締切

■場所：青森駅前アウガ5階研修室 (JR 青森駅東口より徒歩約1~3分)

■会費：3,000円 (句会) / 5,000円 (懇親会費) 【場所：ワ・ラッセ「魚っ喰いの田」】